

心の栄養剤 No.238 『「諦める」は「明らめる」』

あるご家族の葬儀でのことです。お父様を亡くされたご遺族と打ち合わせをしていた際、奥様が「あの人は生前、うなぎが好きだった。もう一度食べさせてあげたかった」と、とても残念そうにお話をされました。

それを聞いた担当社員は、「お別れの際に、お父様に好きだったうなぎを持たせてさしあげましょう」と思い、すぐに近くのうなぎ屋を調べ始めました。

しかし、まだ朝早い時間だったので営業している店は見つからず、開店前のお店に電話をしてとにかく事情を話しました。

「今日お見送りをする方が、生前とてもうなぎをお好きで、ご遺族が最後に食べさせてあげたかったそうなんです。何とか用意していただけますか？」

すると、そのお店の店主は快く引き受けてくださり、特別に焼き立てを準備してくださいました。

「お父様、お好きだったんですね」と言いながらお渡しすると、奥様は驚き、涙をあふれさせながら「本当に用意してくださるなんて……」と声を詰まらせました。

そして、「おかげさまで温かい葬儀ができました。ありがとうございます」と何度も感謝の言葉をくださいました。

「私たちの仕事は単なる『儀式』ではなく、『生きる勇気を与える仕事』であることを実感させられた瞬間でした」と、社員は話してくれました。

葬儀社として向き合うのは、悲しみの中にいるお客様です。

大切な人を亡くし、「生きていくのがつらい」と感じている方も多いです。

ですが、残された人々には、生きていかなければならない未来があります。

その未来に一步踏み出すために、「死」を受け入れ、亡くなった方と向き合う時間が必要であり、「きちんとしたお別れの場」を提供する必要があるのです。

「死を明らめる」という言葉を私たちは大切にしています。

「諦める」という言葉の語源は、「明らめる」からきていることをご存知でしょうか？

亡くなった方の死を明確にし、しっかりと受け止める。それが「諦める」です。残された人が生きていく一步を踏み出すためにはとても大切なプロセスであることを私たちはいつも噛みしめています。

それはつまり、「私たちは元気に生きていくので、天国から見守っていて下さいね」と、ちゃんと最期のお別れをするということです。

その瞬間を支えるのが私たちの仕事であり、**「生きる勇気」**を与える仕事の本質だと私たちは考えています。

私たちが目指すのは「日本で一番『ありがとう』と言われる葬儀社」です。

日本一多くの「ありがとう」をご遺族の皆さまからいただくことができれば、売上や利益は後からついてくるものだと思っています。

私たちが目指す「究極のサービス」を通して、関わらせていただいた全てのお客様に感動をお届けする。

そして、**お客様からいただく心からの「ありがとう」を積み重ねていきたい**と思っています。

私の両親が二人共春に亡くなった事もあり、桜の時期になると両親の事をよく思い出し、もっといっぱい「ありがとう」と感謝の言葉を伝えれば良かったと後悔します。

「ありがとう」といっぱい言われる人は成功する！！

「ありがとう」といっぱい言う人は幸福になる！！

私の座右の銘で、大好きな言葉であり、真実の言葉と思っているのですが、なかなか素直に「ありがとう」と言えていないと反省します。

「ありがとう」といっぱい言われて、「ありがとう」といっぱい言う。

そんな毎日を過ごす事を目標にして、日々過ごしていこうと思っています。

くすりのキュートの究極の存在意義も、

「心からのありがとう」をいただき、「生きる勇気」を与える仕事だと大志を持ちつつ頑張ります！！

●玉名店に「専用相談室」完成しました お気軽にお寄り下さい

●配達&宅急便もお気軽に申し付け下さい！

くすりのキュート 倉光 浩城

TEL (090-8357-2904)

